

## 個人9

受付	3年 11月 24日
午前・午後	10時 02分

## 一般質問（代表・個人）通告書

令和 3年 11月 24日

尾張旭市議会議長 殿

氏名 谷口武司

尾張旭市議会規則第50条第1項の規定により 12月  
 定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。  
 なお、質問項目の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

## 記

1 質問事項 2 件

## 2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問項目（大項目）ごとに一問一答
<input type="radio"/>	1回目から 質問事項（大項目）ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



<p>質問事項</p> <p>No. <u>1</u></p>	<p>尾張旭市民憲章の普及と活用について</p>
<p>要旨</p>	<p>尾張旭市民憲章は市制10周年を記念して昭和55年に制定されました。よくある形の市民憲章ではありますが、若々しい伸び行く本市を表現し、特にその前文には、法律や条例を超えた市民一人一人への願いが私には感じられます。そして、本文ではこのまちに住む老若男女を問わない市民一人一人が目指すべき目標を簡潔に記載することにより、どんな市民が住み、集うまちになってほしいか制定に携わられた方々の思いが伝わってくるような市民憲章だと思います。</p> <p>市制51年目に入ってしまいましたが、この機会に遅ればせながら市民憲章について今一度着目し、このまちの今と未来に思いを馳せながら質問をさせていただこうと思います。</p>
	<p>(1) 市民憲章の制定に至る背景・過程について</p> <p>当時多くの市で市民憲章が制定されていますが、本市での制定に至る背景や制定作業の様子についてお伺いいたします。</p>
	<p>(2) 市民憲章の役割について</p> <p>本市に市民憲章がある意義についてお伺いいたします。</p>
	<p>(3) 市民憲章の普及と活用について</p> <p>ア これまでの活用について</p>
	<p>イ 新たな市民憲章の制定について</p> <p>51年目を迎えるに当たり、市民憲章改定に否定的な立場から、新たな市民憲章の制定についてどのように考えられるか伺う。</p>
<p>ウ これからの活用について</p> <p>51年目を迎えるに当たり、様々な場面で市民憲章を知る機会を増やし、市民とともに心の内面から郷土愛の醸成を図り、もって、今後のまちづくりについて一緒に考えていくべきだと思われるがどのように考えられているか伺う。</p>	

※申し合わせ事項に留意する。

<p>質問事項 No. 2</p>	<p>三郷駅前広場を中心としたまちづくりについて</p>
<p>要旨</p>	<p>高度成長期の人口の増加に伴い市制に移行した本市にとって、それ以前から地場産業や観光需要と結びつくことによって、現在のような道路網が整備されていない中で鉄道路線が整備されていたことはプラス要素であったと思われます。また、この名鉄瀬戸線が市内を東西に横断し4駅残されていることは、現在に至っても都市計画上重要な要素だと思います。特に駅前は「まちのイメージ」を決定づける重要な場所であるとともに、高度経済成長期、安定成長期、1990年代以降の低成長期、そして持続可能な社会の構築を目指す現在、各期間を通じて新たな役割が求められ続けているポテンシャルの高い場所だと思います。</p> <p>市内各駅の駅前整備は西から印場駅と旭前駅については区画整理事業により整備され、尾張旭駅については地区計画により継続的に駅前の土地利用を誘導されております。三郷駅については、今年8月に都市計画決定されいよいよ具体的な計画に入していくとお聞きしております。</p> <p>市街地の拡散を抑制して一定のエリアへの住居や都市機能を誘導し、コンパクトシティを推進する立地適正化計画、それを補う地域公共交通計画策定の努力義務が国から求められている中で、この三郷駅前の再開発事業は進められています。しかしながら、市域のもともと小さい本市にとって鉄道の駅を結節点とした新しい時代に適合したまちづくりと、駅周辺を中心とした土地の利活用は他市と比べて有利な状況にあり、本市の強味であると思います。</p> <p>そこで、人口減少時代にあっても、本市の生命線である人口の減少を先延ばしし、現人口の維持に資すると思われるこの三郷駅前の整備と三郷駅前広場を中心としたまちづくりについてお伺いいたします。</p> <p>(1) 駅前広場の交通結節点としての機能について</p> <p>駅前広場には、交通結節点としての機能が当然求められるが、その整備の考え方について伺う。</p> <p>ア 交通結節点としての機能と整備の考え方について  イ 人を中心とした、新しい時代にふさわしい交通結節点について</p> <p>(2) 都市の広場機能の充実、駅前広場の活用について</p> <p>昨今の駅前広場は多面的役割を担う必要が求められている。多面的役割の中で、にぎわいの創出に重点を当てながら、都市の広場機能の充実、駅前広場の活用について伺う。</p> <p>(3) 駅前の開発による周辺地域への波及効果について</p> <p>まち育てワークショップで森林公园とのつながりのイメージが多く出されていたが、森林公园線沿線への波及効果について伺う。</p>

※申し合わせ事項に留意する。